

氏名	重定 如彦 (教授、准教授、専任講師)
こんな研究をしています	ユビキタスコンピューティング、分散オペレーティングシステム。最近は人工知能にも興味を持っています。
こんな成果を挙げています	<p>「不完全情報ゲームにおけるメタ節点・メタ行動を用いた ゲーム木構築手法, BMI 命令等を用いた高速化手法」 コンピュータソフトウェア 36 巻第 1 号 p.119-151, 2019, 日本ソフトウェア学会</p> <p>「 Interoperable Spatial Information Model and Design Environment Based on ucR Technology」 IEICE Transactions on Information and Systems, 2013</p> <p>「Interoperable spatial information system architecture based on ubiquitous ID infrastructure」 IEEE Computer Software and Applications Conference Workshops, 2011</p> <p>『実習情報リテラシ』サイエンス社, 2011</p> <p>『学生のための詳解 Visual Basic』東京電機大学出版局, 2009</p>
ほかに、こんなジャンルに関心を持っています	コンピュータのプログラミングによるものづくりにも関心を持っています。最近では、人工知能を使ったプログラミングなどをテーマにした授業も行っています。
こんな授業を行なっています	現在、大きな社会的注目を集めている人工知能について、古典的なチェスなどのゲームを題材とする AI からはじめ、近年注目を浴びている画像を認識するディープラーニングを用いた AIなどを題材とした実習を行いながらその仕組みについて学び、人工知能ができる事、できない事について理解できるようにする。また、人工知能が社会に与える影響などについて考察する。
学会や社会でこんな活動をしています	アジアの諸国を対象とした留学生の奨学金の選考委員を行っています。
私が思う多文化的かつ、インターカルチュラルな人物	私の学生時代の指導教員の坂村 健を紹介します。坂村は、現在、全世界的に研究されている IoT の草分け的な研究を行った人物であり、TRON プロジェクトを立ち上げて、全世界の誰でも使用可能なオープンな OS の規格や、IoT で用いられるユビキタス ID の国際標準規格の策定など、国際的な活躍を行ってきました。また、現在では当たり前のようにになっているバリアフリーの概念が乏しかった頃から、「コンピュータ機器を様々な身体特性に合わせて操作性を調整できる」という、イネーブルウェアの概念を提唱し、実践してきた人物です。